

平成28年12月19日（月）  
第3回地方創生・成長戦略  
統合推進本部会議

# 第3回さいたま市地方創生・成長戦略 統合推進本部会議資料

# 平成28年度第3回さいたま市地方創生・成長戦略統合推進本部会議 次第

日 時 平成28年12月19日（月）

午後3時30分～午後5時00分

場 所 政策会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 首都圏広域地方計画に係るプロジェクトの進捗について
- (2) 三世代同居・近居支援検討WGにおける検討状況について
- (3) 今後のスケジュールについて

3 その他

4 閉 会

## 2 議事

- (1) 首都圏広域地方計画に係る  
プロジェクトの進捗について

# 首都圏広域地方計画に係るプロジェクトの進捗について

- 平成27年度に策定された国の首都圏広域地方計画に位置付けられたプロジェクトのうち、「東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出P J」（以下「P J」）について、さいたま市（主査）・埼玉県・関東地方整備局を構成員とするP Tを推進主体として推進
- 今年度中のP Jの目標設定に向けて、P T会議を中心に検討を進めている

## ■ 前回本部会議（H28.9.1）以後の取組

日付	会議等	議題等	主な内容
H28.10.27	第3回P T会議	① シンポジウムの開催について ② P Jの目標設定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シンポジウムを、本市の主催、国土交通省及び埼玉県の後援により、平成29年1月25日（水）に開催することを確認</li> <li>○ 対流拠点としての「大宮」に必要な要素を具体化する作業を通じて、目標設定の考え方を共有し、目指すべきP Jの目標を検討</li> <li>○ 課長等会議において、現時点でのP Jの目標案とその検討プロセスを他のP Tの参考となるように報告することを確認</li> </ul>
H28.11.7	庁内照会「P Jの目標設定に係る考え方について」	第3回P T会議で議論した、P Jの目標設定に係る考え方における目標案、指標案について関係課所へ意見照会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ P J目標案、指標案として課題があるもの、または追加すべきものを関係課所からの意見を踏まえ整理</li> </ul>
H28.11.28	首都圏広域地方計画担当課長等会議	① 主要P Jからの進捗報告 ② 主要P J以外のP Jのフォローアップ方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先行して検討を進める「東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出P T」（本市主査）及び「首都圏南西部国際都市群の創出P T」（相模原市主査）を中心に、目標設定に向けた主要8P Jの進捗を報告</li> <li>○ 主要P J以外の30P J（一般P J）について、フォローアップ方法の設定に向けた進め方の提示</li> </ul>

## ■ 今後の予定

- P T会議を中心にP J目標案を検討し、首都圏広域地方計画担当課長等会議（2月上旬開催予定）に結果報告
- 首都圏広域地方計画幹事会（2月下旬開催予定）においてP J目標を報告

# 首都圏対流拠点シンポジウム

対流拠点における新たな絆(人の流れ)の創出に向けて

## 1 経緯

H28.2.25 首都圏広域連携未来シンポジウム

目的：首都圏広域地方計画の周知  
首都圏の未来を考え、発展させる

**H28.3『首都圏広域地方計画』改定**

東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出

「大宮駅GCS化構想」始動

**H29.1.25 首都圏対流拠点シンポジウム**

## 2 概要

日時：H29.1.25(水) 13:30～15:30

会場：さいたまスーパーアリーナTOIRO

主催：さいたま市

後援：国土交通省、埼玉県、日本商工会議所等

対象：市民

目的：「大宮」における、企業の取引機会拡大や販路開拓、連携によるイノベーション創出のあり方や、広域周遊観光ルート構築のための東日本の玄関口機能のあり方を様々な視点で示唆して頂き、対流拠点における新たな人の流れの創出に向けた取組の推進、機運醸成のために実施

## 3 内容

**【第1部】 13:30～13:50 (20分) 基調講話**

- 藤井 健 (国土交通省国土政策局長)  
・ 地方創生回廊、スーパーメガリージョン等における国の動向について

**【第2部】 14:00～15:30 (90分) パネルディスカッション**

テーマ：新たな人の流れの創出に向けた取組

《コーディネーター》

- 久保田 尚 (埼玉大学大学院教授) ※ 大宮GCS推進会議委員  
〔話題提供〕・「集中」から「対流」への転換、面的な対流創出のための交通ネットワークの活用等  
・ 大宮駅グランドセントラルステーション化構想の取組状況 等々

《パネラー》

- 宇野 求 (建築家・東京理科大学教授)  
・ 活力社会の再構築に向け、少子高齢化やITの進展による働き方等の環境の変化による新たな居住のあり方を示唆
- 楓 千里 (株式会社JTBパブリッシング取締役)  
・ 2020年オリ・パラ等を見据えたインバウンド効果・波及や、地域資源を相互活用し相乗的な地域活性化を促進する広域観光ルート、これからの人の流れについて示唆
- 佐々木 則夫 (大宮アルディージャ トータルアドバイザー)  
・ 距離感を無くしたホーム・アウェイ観戦等サッカーを通じた地域活性等の展望を示唆いただくとともに、チームワークにより世界一に導いた功績を踏まえ、これからの都市間連携のあり方のヒントを示唆
- 藤井 健 (国土交通省国土政策局長)  
・ 首都圏広域連携による対流拠点の形成を広域行政の視点から示唆
- 清水 勇人 (さいたま市長)

(2) 三世代同居・近居支援検討  
WGにおける検討状況について

# 三世代同居・近居支援検討WGにおける検討状況について

## ■ 平成28年度三世代同居・近居支援検討WG会議の開催状況について

	開催日	主な内容	関係課
第1回	6月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課施策案の検討</li> <li>支援策に対する基本的な考え方(骨子)の検討</li> </ul>	子育て支援政策課 高齢福祉課 住宅政策課
第2回	7月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課施策案の検討</li> <li>支援策に対するWGの考え方(骨子案)の検討</li> </ul>	
第3回	8月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援策に対するWGの考え方(中間報告案)の検討</li> </ul>	
第2回 本部会議	9月1日(木)	中間報告	
第4回	9月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回本部会議を受けた、予算要求に向けた関係局の検討状況の確認</li> <li>今後の対応の検討</li> </ul>	
第5回	10月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回会議までに出された施策案の検討状況及び予算要求の状況の報告</li> <li>平成29年度予算編成に向けた各課からの新たな施策案の共有・検討</li> </ul>	
第6回	10月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算要求状況のその後の進捗と、第5回WG会議を受けた各課における新たな施策案の検討状況の報告</li> </ul>	

# 三世代同居・近居支援検討ワーキンググループの報告について

## ■ WGの目的

三世代同居・近居支援策について、その方向性と有効性のある施策について検討する。

## ■ 国の動向

(1) ニッポン一億総活躍プラン（平成28年6月2日閣議決定）

大家族で、世代間で支え合うライフスタイルを選択肢として広げるため、三世代同居・近居をしやすい環境づくりを推進する。

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年12月24日閣議決定）

「三世代同居・近居」の希望に対する実現比率を向上させ、理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合を低下させる。

## ■ 三世代同居・近居支援策に対するWGの検討内容

### ● さいたま市の現状

(1) さいたま市の世帯数の推移

(2) さいたま市におけるニーズの把握

⇒ **子育て世代（保育園児の保護者）及び、祖父母世代（シルバーユニバーシティ受講者）を対象にアンケートを実施**

### ● 三世代同居・近居支援策の基本的な考え方

(1) 子育てしやすい環境づくりへの支援

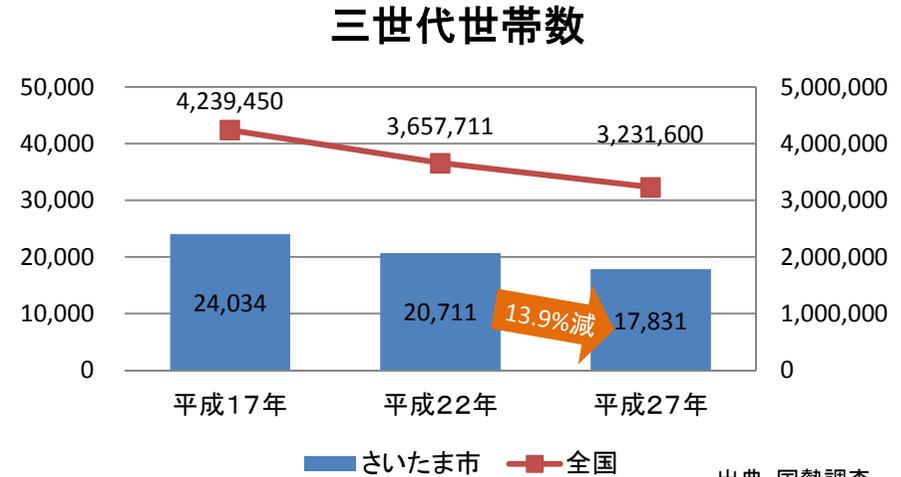
(2) 祖父母世代に対する支援

(3) 三世代同居・近居に資する居住環境への支援

⇒ **さいたま市でのニーズや基本的な考え方を踏まえ、具体的な支援策を検討**

# さいたま市の現状 ①

## ● さいたま市の世帯数の推移



出典:国勢調査

➡ **さいたま市は、一般世帯数が約6%増加し、三世帯世帯が約14%減少（全国と同様の推移）**

## ● さいたま市におけるニーズの調査

### アンケート調査の概要

#### 【対象者】

子育て世代 : 公立保育園に通っている園児の保護者（10園<各区1園> 配布数 1,071）  
※兄弟・姉妹重複分も含む

祖父母世代 : シニアユニバーシティ受講者（8校 配布数 576）

#### 【実施期間】

平成28年11月11日～平成28年11月30日まで

#### 【アンケート回収数】

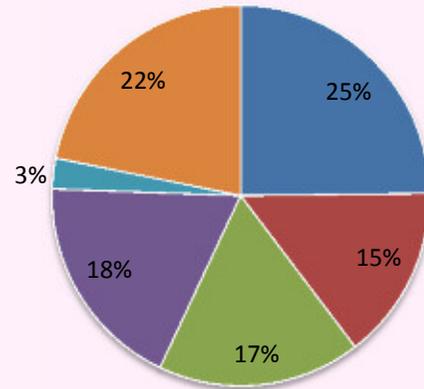
子育て世代 : 534 祖父母世代 : 354 **合計 888**

## さいたま市の現状 ②

### ● 同居・近居に関するアンケート結果

#### …… 子育て世代 ……

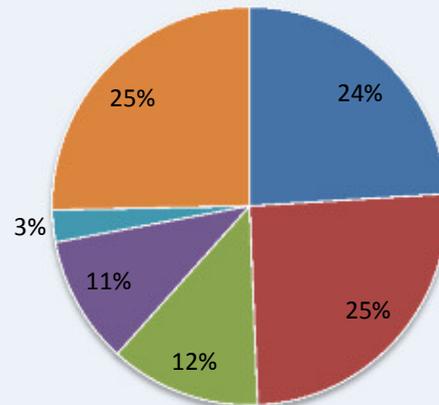
#### 同居・近居のきっかけ



- 自身または配偶者の親と結婚前から同居・近居している。
- 結婚を機に同居・近居している。
- 子ども出産を機に同居・近居している。
- 自身または配偶者の仕事の都合で同居・近居している。
- 親の介護のため同居・近居している。
- 自身または親の住宅購入を機に同居・近居している。

#### …… 祖父母世代 ……

#### 同居・近居のきっかけ



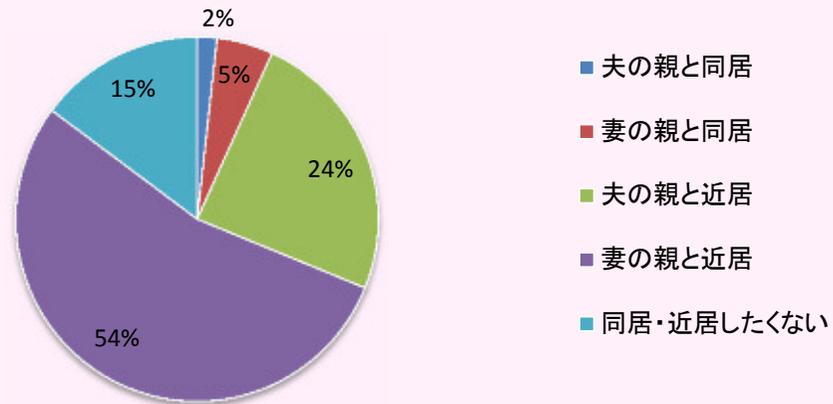
- 子どもが独身のときから同居・近居している。
- 子どもの結婚を機に同居・近居している。
- 孫の誕生を機に同居・近居している。
- 子どもまたは子どもの配偶者の仕事の都合で同居・近居している。
- 自身または配偶者の介護のため同居・近居している。
- 自宅または子どもの住宅購入を機に同居・近居している。

## さいたま市の現状 ③

### ● 同居・近居に関するアンケート結果

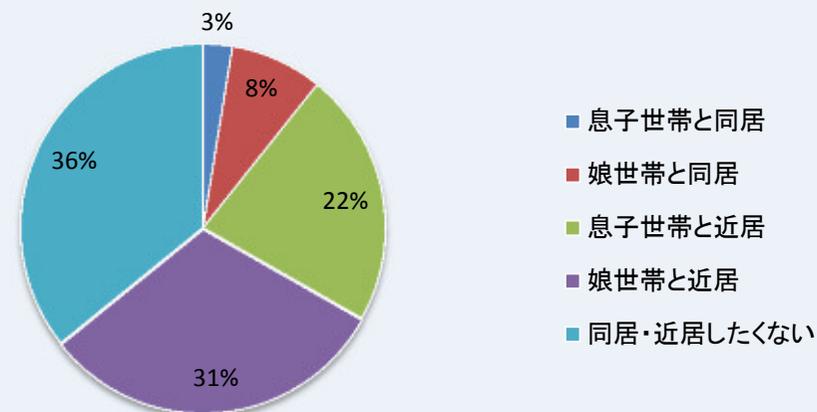
#### …… 子育て世代 ……

#### 親と同居または近居したいか



#### …… 祖父母世代 ……

#### 子世帯と同居または近居したいか

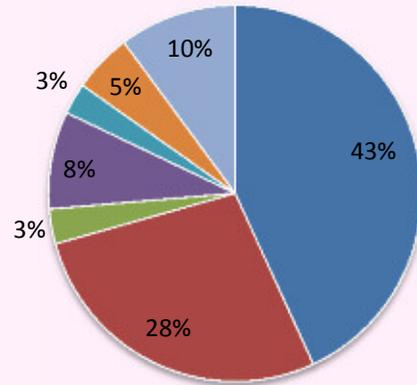


## さいたま市の現状 ④

### ● 同居・近居に関するアンケート結果

#### …… 子育て世代 ……

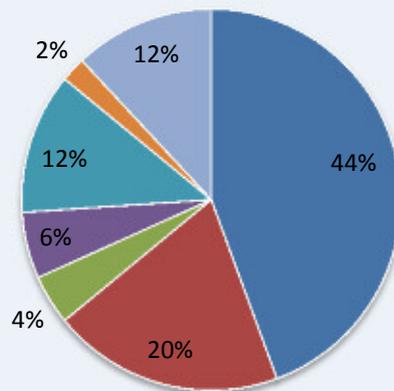
#### 同居・近居が実現できない理由



- 自身または配偶者の仕事の関係で、同居・近居が難しい。
- 同居・近居するために住宅を用意することが難しい。
- 配偶者や子どもの理解が得られない。
- 自身または配偶者の親が望んでない。
- いずれはしたいと思っているが、家族に相談していない。
- 子どもの教育の関係で、同居・近居が難しい。
- その他

#### …… 祖父母世代 ……

#### 同居・近居が実現できない理由



- 子どもまたはその配偶者の仕事の関係で、同居・近居が難しい。
- 同居・近居するために住宅を用意することが難しい。
- 子どもまたはその配偶者の理解が得られない。
- 自身の配偶者が望んでない。
- いずれはしたいと思っているが、家族に相談していない。
- 孫の教育の関係で、同居・近居が難しい。
- その他

## さいたま市の現状 ⑤

### ● さいたま市におけるニーズ等

#### ★ 現在、同居・近居していない方の同居・近居に対する希望

子育て世代：① 近居を希望（78%） ② 同居・近居したくない（15%） ③ 同居を希望（7%）

祖父母世代：① 近居を希望（53%） ② 同居・近居したくない（36%） ③ 同居を希望（11%）

 **両世代とも、近居を希望する方が最も多く、次に同居・近居したくない方が多く、同居を希望する方は少数派という結果となった。**

#### ★ 同居・近居が実現できない理由

- 仕事の関係で難しい（43.5%）
- 住宅を用意することが難しい（25.2%）
- 家族の誰かが望んでいない（7.6%）
- 実際の行動に移せていない（5.5%）
- 子どもの教育の関係で難しい（4.2%）
- 家族の理解が得られない（3.3%）
- その他（10.7%）

同居・近居が実現しない理由	考えられる支援策
仕事の関係で難しい	企業への配慮要請
住宅を用意することが難しい	住宅取得費の助成・家賃助成・転居費助成・ 情報提供・減税
子どもの教育関係で難しい	
家族の誰かが望んでいない	同居・近居に対する不安の解消
実際に行動に移せていない	メリット等の啓発 きっかけづくり
家族の理解が得られない	同居・近居促進情報の提供

# 三世代同居・近居支援策の方向性

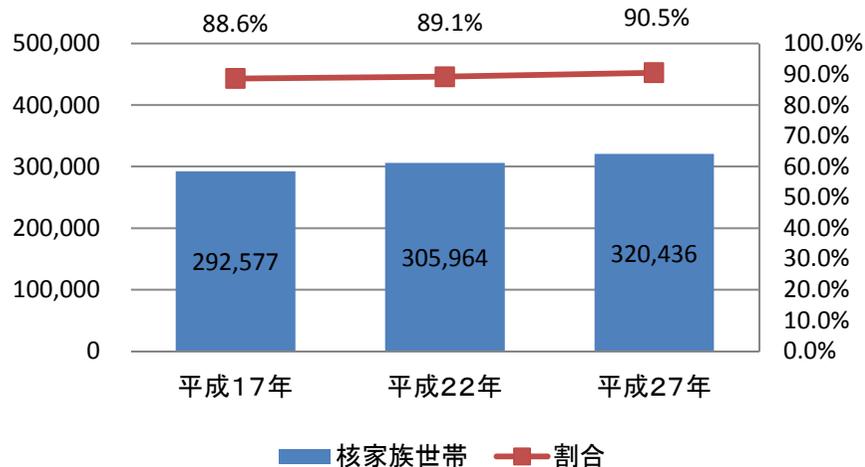
## さいたま市における支援策の考え方

- ★ 社会的理由により、同居・近居が実現しない方が一定程度存在するため、大きなインセンティブを与えての支援策は不公平が生じる。
- ★ 同居・近居への抵抗感や不安を持つ方に対し、その原因を解消する支援策が必要
- ★ 家族のみに限定するのではなく、地域の世代間で支えあう視点も必要
- ★ 多様化するライフスタイルに沿った支援策が必要

→ **さいたま市の支援策の方向性として、三世代同居・近居の支援に+αとして、地域の世代間で支えあう視点を加え施策を推進**

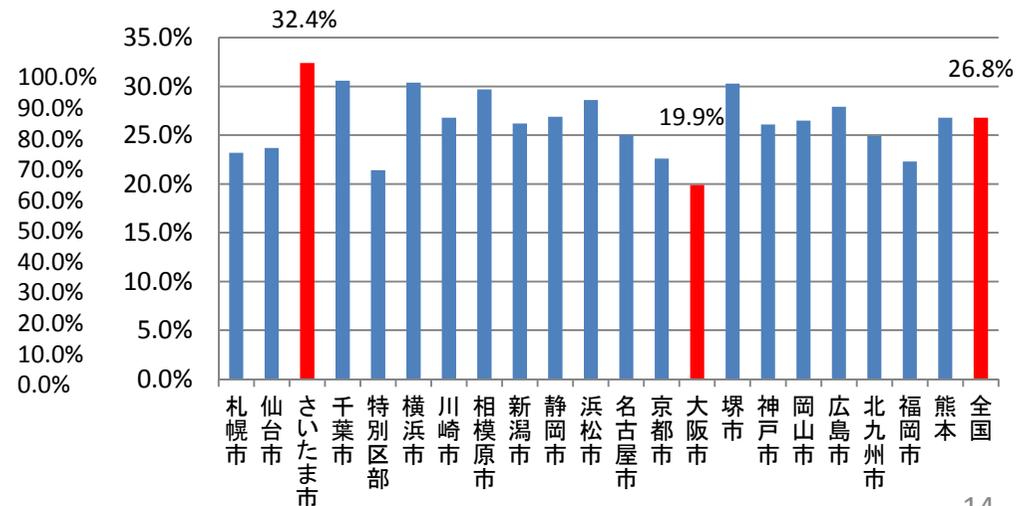
### ● さいたま市の核家族世帯数と割合及び大都市との比較

核家族世帯数と割合



※単独世帯を除く一般世帯数と核家族世帯数の割合

大都市の核家族世帯の割合



※一般世帯数と核家族世帯数の割合

# さいたま市における三世代同居・近居支援策について

## 具体的な支援策

支援策	概要	支援区分			
		情報発信	子育て世代	祖父母世代	居住環境
①手帳等による啓発 【既存】	既存事業の祖父母手帳や孫育て講座による啓発を拡大	○	○	○	
②孫育て講座による意識醸成 【既存拡充】	祖父母世代に現在の子育ての現状等の学ぶ場を提供し、地域における孫育てを推進する	○	○	○	
③孫育て支援策 【既存拡充】	アクティブチケット制度を拡充し、孫と遊びに行けるような施設を利用対象とする		○	○	
④ジジ・ババサロンによる支援 【新規】	子育て支援施設において特定日を設け、孫の面倒を見ている祖父母が集える場を提供		○	○	
⑤市民住宅による支援 【既存】	多子・新婚世帯へ家賃減額制度があることを情報提供していく	○	○		○
⑥固定資産税の減額特例 【既存】	二世帯住宅の住宅用地、新築家屋に係る一定面積の課税を減額		○	○	○

## 今後の展開

- ★ 単なるバラマキとならず、かつ、早期実施ができるものを優先的に実施。
- ★ パッケージ支援策は、既存施策の拡充や他分野と連携を強化し、効果的に組み合わせ、本市の三世代同居・近居支援策としていく。
- ★ 今後、新たな施策支援策も含め、世代間が支えあうライフスタイルが選択肢となるよう推進する。
- ★ 横断的に検討していることから、「子育て支援」「高齢福祉」「住宅」といった複数分野の支援策に民間活力も含め連携していくことで、効果的な支援策とする。

### (3) 今後のスケジュールについて

# 今後のスケジュールについて

- 平成28年度の今後の取組に関し、以下のようなスケジュールを想定。

時期	地方創生	成長戦略	首都圏対流拠点
4月	加速化交付金（2次） 推進交付金（1回目） 18日 総合戦略事業 内部評価実施	8日 平成27年度状況のPT報告	18日 第1回関係部局会議開催
5月		19日 本部会議	
6月			24日 第1回首都圏対流拠点PT開催 29日 第2回首都圏対流拠点PT開催
7月	29日 まち・ひと・しごと創生有識者懇談会	20日 各PTから報告（第1四半期）	14日 第2回関係部局会議開催
8月			
9月	推進交付金 （2回目） 27日 総合戦略達成状況議会報告	1日 本部会議	
10月			27日 第3回首都圏対流拠点PT開催
11月		16日 各PTから報告（第2四半期）	28日 東日本連携・創生フォーラム
12月		19日 本部会議	
1月			25日 首都圏対流拠点シンポジウム
2月		各PTから報告（第3四半期）	下旬 首都圏広域地方計画幹事会
3月		本部会議	